助成事業完了報告書

日本財団　会長　笹川　陽平　殿

　　　　　　　　　　　報告日付：２０２３年１２月１日

事業ID：

事業名：保育園「改築工事」

団体名：社会福祉法人　おさなごの城会　飯岡保育園

代表者：理事長　瀬川　大秀

<TEL:0897-56-2381>

　事業完了日：２０２３年１０月３０日

|  |  |
| --- | --- |
| 事業費総額 | ５１８２９８６６円 |
| 自己負担額 | ２１８２９８６６円 |
| 助成金額 | ３０００００００円 |
| 助成金返還見込額 | ０円 |

1. 事業内容
2. 工事内容
   1. 幼児用トイレ更新工事
   2. バリアフリートイレ設置工事
   3. 職員室移設工事
   4. 遊びと絵本のスペース設置工事
   5. 食の交流スペース設置工事
   6. 授乳室設置工事
   7. キュービクル入替工事
3. 事業内容の詳細
   1. 幼児用トイレ更新工事

築２０年の園舎の中央にあるオープントイレは、長年使用し劣化していた。また、手洗いの奥にトイレがあり死角になる場所があった。

今回の更新工事で、問題であった死角がなくなり使用している園児の様子が把握できるようになりました。また、地域の特色をモチーフにした色彩（白、緑、黄）を使ったタイルで明るくなり、こどもたちは気軽にトイレに行くことができています。

* 1. バリアフリートイレ設置工事

従来のトイレは、車いすに乗ったままでは利用できなかった。

現状に適した誰でも利用できるトイレを園内に設置したいという思いを形にできました。車いすの方はもちろん、親子で一度にトイレを使用できるようになりました。

* 1. 職員室移設工事

支援センターを新たに作ることで職員室を移動させることになった。

園児が出入りする入口の保育室に移設することで、園児の様子がよくわかるようになった。また、園庭も見渡せる位置なので安全面にも留意することができるようになった。以前の職員室より保育室や園庭、出入り口に近くなり、職員も安心して業務ができるようになった。

* 1. 遊びと絵本のスペース設置工事

絵本は、「心の栄養」と言われるように、子どもにとって、文字や言葉の発達を促すだけでなく、心の成長・発達のために欠かせない存在です。

そんな大事な絵本を飯岡支援センターでは、「絵本の杜」で親子に触れ合いの場を提供しています。従来の場所では手狭でしたが、新しい支援センターでは、

小上がりスペースを設け、木の棚に囲まれた落ち着いた場所で絵本と遊びを楽しむことができるスペースになりました。

* 1. 食の交流スペース設置工事

飯岡保育園では、「食」・「食育」に力を入れてきました。人の体は、食べたものでできています。幼いころから、安心・安全なものを栄養のバランスよく食べることの大切さを知り、将来、健やかに暮らしていけるようになるよう実際に作ってみんなで楽しくいただく場ができた。

* 1. 授乳室設置工事

利用者から要望のあった「授乳室」を安心して利用できるスペースとして設置できました。

* 1. 築２０年がたった園舎の心臓部のキュービクルを新しくした。

1. 契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

改造工事を滞りなく実施し、子育て支援センターの機能向上を目的とする。

【目標の達成状況】

計画通りに改造工事が滞りなく実施し、子育て支援センターの機能向上できた。

1. 事業実施によって得られた成果

築２０年たつ園舎の毎日使うトイレが新しくなり、職員室が出入り口の近い場所に移設され、安全面に留意し保育業務ができるようになった。また、保護者とも今まで以上にコミュニケーションが図れるようになった。

　また、支援センターが「遊びと絵本のスペース」や「食の交流スペース」、「授乳室」「バリアフリートイレ」ができ、多機能になった。

何より、長年たくさんの親子が利用してきた園舎が新しく生まれ変わり、また、新たなスタートできたことに感謝している。

５、新たな課題と対応案

　　支援センターが新しくなったことで、安全に利用できるよう危険個所の把握や利用するときのお約束などを周知すること。

新しくなったことを、多くの方に知ってもらい利用してもらえるように、SNSなどを活用して場所と活動内容などを情報発信していく。

　多機能になった支援センターの活動内容も多機能にしていく。